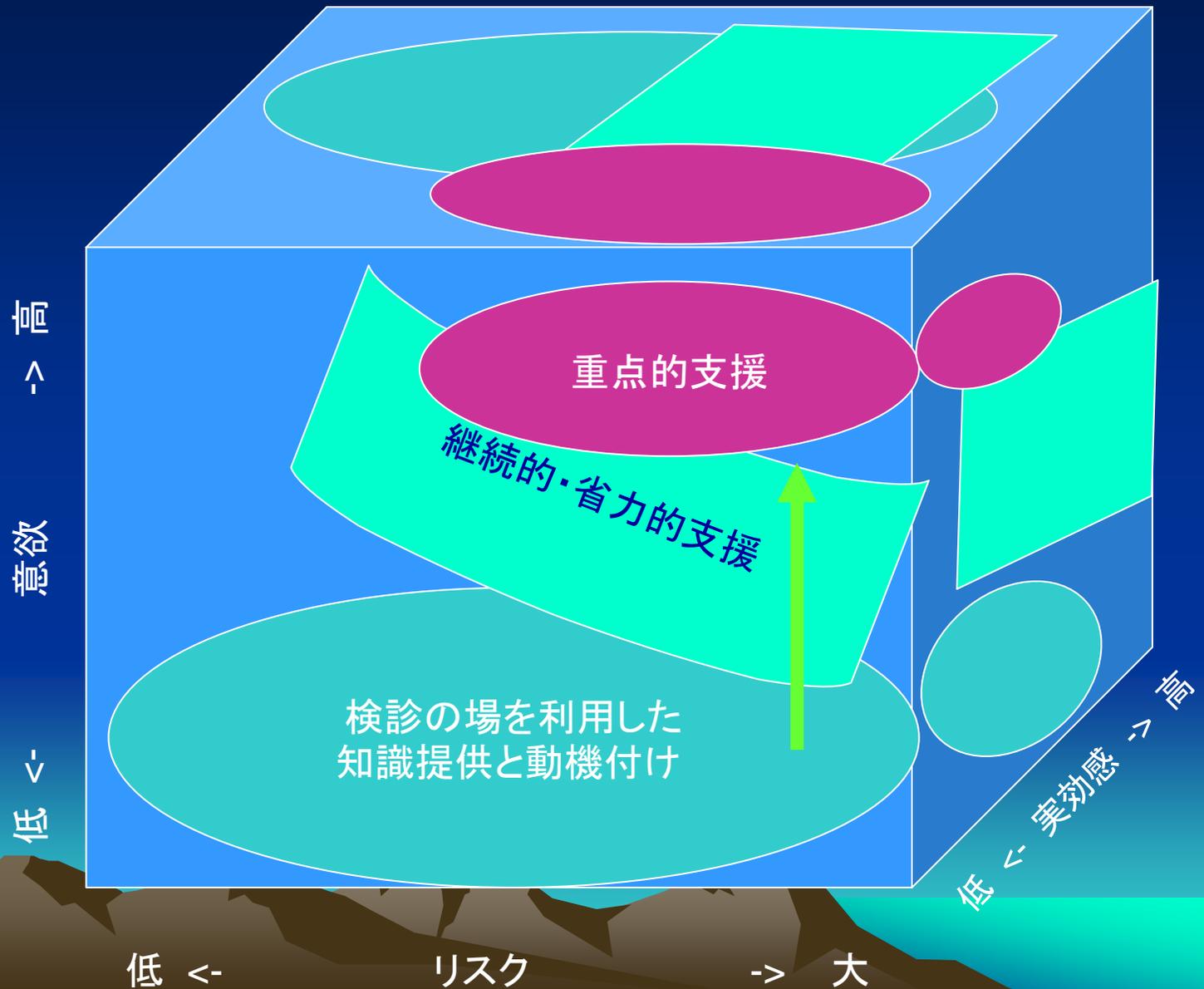


意欲(ステージ)モデル

- 関心がない
- 関心はあるが時間を割く意欲はない
- 関心があり時間を割くつもりがある
- 実行している

→少なくとも3種類のメニューが必要

重症度・意欲・実効感に着目した戦略



効果的実施の条件

- 指導密度を決めるのは実施側である
住民・従業員にはニーズがない
(効果的な支援の経験がない)
動機を高める、意欲を高める仕組みを作る
- 年次計画に基づいた実施
すべての対象者に効果の上がる支援を実施する。



各モデルの位置づけ

検診の場を用いた保健指導

- 動機付け、
- 知識提供、
- 意欲のチェック

- 興味がある
- 時間がない

- 自信
- 実施効果
- 自己管理

- 効果の確認
- 自信
- 時間がない

- 問題点発見
- 実施意欲

- 効果不足
- 実施意欲

省労力型継続サポート

重点支援

効果の確認、効果の継続、支援の継続、

年次計画に基づく実施

- 指導密度を決めるのは実施側である
 - 実施計画に基づく実施が必要である
 - 44, 49, 54, 59歳の
有所見者を重点支援とする
43, 48, 53, 58歳は準備期間
 - 5地区に分割し順次実施する
 - A地区(初年度実施、2年度目フォロー)
 - B地区(2年年度目実施、
初年度は見学、情報提供)
 - 5年間で一巡する
- 松竹梅のモデル構築と各役割分担を明確化する

地区別の取組計画

	初年度	二年度	三年度	四年度	五年度
A 地区	プレ取組期	取組期	継続期	維持期	維持期
B 地区	準備期	プレ取組期	取組期	継続期	維持期
C 地区	準備期	準備期	プレ取組期	取組期	継続期
D 地区	準備期	準備期	準備期	プレ取組期	取組期
E 地区	準備期	準備期	準備期	準備期	プレ取組期

年齢階級別の取組計画

	初年度	二年度	三年度	四年度	五年度
44,49,54,59歳	プレ取組期	取組期	継続期	維持期	維持期
43,48,53,58歳	準備期	プレ取組期	取組期	継続期	維持期
42,47,54,57歳	準備期	準備期	プレ取組期	取組期	継続期
41,46,51,56歳	準備期	準備期	準備期	プレ取組期	取組期
40,45,50,55歳	準備期	準備期	準備期	準備期	プレ取組期

今後の課題

- 個別健康支援プログラムの有効実施の担保
 - 指導者の養成
 - 実施体制の確保
 - 対象者募集の仕組み
- 複数プログラムの組み合わせ
 - 有機的な連携方法
 - 長期計画に基づく実施
- 保健事業の医療費評価
 - 課題抽出(断面的、縦断的)
 - 実施効果解析